

# 東名古屋病院だより

平成21年10月発行 第40号



## 理 念

私たちは、医の倫理を守り、患者さまの気持ちを尊重し、より質の高い医療を提供します。

## 基本方針

1. 患者さまへの十分なインフォームドコンセントを基本とします。
2. 皆さまに信頼される医療を提供し、療養環境の向上に努力します。
3. 地域に密着し、心のふれあいを大切にした医療を提供します。
4. 医療水準の向上のため、常に研修に励み、医療人としての専門知識、技術の研鑽につとめます。
5. 健全な経営を維持し、安心して療養できる病院をめざします。

## 目 次

2 P : 巻頭言「チーム医療」  
3 P : 病気とのつきあい方  
4 P : 認知症と画像診断  
5 P : 西3階病棟の紹介

6 P : 誕生 ソフト食！  
7 P : 附属リハビリテーション学院です  
8 P : 外来案内、外来診療担当医表



発行元  
独立行政法人国立病院機構  
**東 名 古 屋 病 院**  
Higashi Nagoya National Hospital

〒465-8620  
名古屋市名東区梅森坂5-101  
TEL 052-801-1151  
FAX 052-801-1160  
ホームページアドレス  
<http://www.hosp.go.jp/~tomei/>

## チーム医療



薬剤科長 高橋 朗

チーム医療とは、医師と看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士などの医療スタッフ（コメディカル）がそれぞれの専門性を発揮し、患者様のために最善の治療をおこなう医療現場の取り組みのことです。医療スタッフ全員がひとつのチームのように結束して治療にあたる形態から、チーム医療と呼ばれるようになりました。また、患者様やご家族の方も疾病やその原因に関する有力な情報を持っていることからチームの一員として捉えられています。

厚生労働省は、医療制度の改革を進めるために、将来をしっかりと見据えた長期ビジョンを持ち、現場の声を聞きながら政策の立案や推進を行う必要があることから、平成20年6月に「安心と希望の医療確保ビジョン」を示しています。そのなかには、患者様やご家族にとって最適な医療を効率的に提供する観点から、医療職種間の役割分担と協調に基づくチーム医療を推進していくことが記載されています（抜粋参照）。

以下に、当院で行われているチーム医療のいくつかをご紹介します。

### 【栄養サポートチーム（NST）】

すべての病気において、栄養管理がおろそかになると治療効果に影響を与え、合併症や副作用の頻度が高くなります。そこで、入院中に栄養が不良な患者様を対象に、どうして栄養不良になったのかを調査し、「どんな栄養素が足りないのか。」「カロリーは足りているのか。」という観点から、それに合った食事、栄養を検討しています。

### 【院内感染予防対策チーム（ICT）】

院内感染の原因となる細菌やウイルスの発生状況を調査したり、抗生物質が正しく使われているかのチェックを行っています。職員に対しては、消毒法、手洗いなどの指導を行なっています。また、最近流行している新型インフルエンザへの対応策についても検討しています。

### 【緩和ケアチーム】

「がん」の患者様のクオリティ・オブ・ライフ（生活の質）を向上するために、痛みを和らげる

「くすり」の使い方や副作用対策を検討しています。

この他に、褥瘡（床ずれ）対策チームなどがあります。

チーム医療の今後の方向性としては、院内だけのチーム医療ではなく、地域医療との連携が求められています。例えば、脳卒中に関しては急性期の医療を担う大病院の役割、回復期のリハビリテーションや治療を担う医療機関の役割、維持期のリハビリテーションを担う医療機関の役割、生活の場における療養支援を担う診療所の役割といった医療機関の連携があります。これも大きな意味でのチーム医療と言えます。



### 「安心と希望の医療確保ビジョン」

#### Ⅱ. 具体的な政策

#### 1 医療従事者の数と役割

#### (4) 職種間の協働・チーム医療の充実

#### イ. 医師と薬剤師等との協働の充実

医療機関に勤務する薬剤師がチーム医療の担い手として活動するために、病棟等での薬剤管理や、医師・看護師と患者・家族の間に立ち服薬指導を行うなどの業務の普及に努める。また、医薬品の安全性確保や質の高い薬物療法への参画を通じ医師等の負担軽減に貢献する観点から、チーム医療における協働を勧奨するとともに、資質向上策の充実も図る。

#### ウ. 医師とコメディカルとの協働の充実

臨床検査技師や臨床工学技士の積極的な活用を図るとともに、医師と作業療法士、理学療法士等のコメディカルとの協働を進めるなど、多職種連携によるチーム医療の普及に努める。

#### 「安心と希望の医療ビジョン」

（平成20年6月厚生労働省）より抜粋

# 病気とのつきあい方

## おしりの悩み一痔のお話



外科部長 加藤 俊之

おしりの悩み、痔でお困りの方はいませんか。肛門に発生するいろいろな病気を総称して痔といいます。日本人の3人に1人は痔を患っているといわれており、痔は決して珍しい病気ではありません。しかし、恥ずかしさや怖さから医療機関を受診できずに一人悩んでいる人も多いようです。

痔の中で頻度の高い、痔核（いぼ痔）、裂肛（切れ痔）、痔ろう（あな痔）は、痔の三大疾患とよばれます。今回は、その中でも最も多い痔核についてお話します。

### <痔核の原因と予防>

痔核は肛門のうっ血が繰り返されることによって起こり、肛門にうっ血を来す要因すべてが痔核の原因となります。逆に肛門がうっ血しにくくすることが痔核の予防となります。

人間が痔を患うようになった根本的要因は起立二本足歩行をすることにあります。二足歩行を止めることはできませんが、長時間の座りっぱなし、立ちっぱなしを避けることは痔の予防につながります。

生活習慣は痔核の形成に大きくかかわっています。そのトップは便秘や下痢といった便通の乱れです。特に、便秘になると排便時に強くいきむようになり、肛門がうっ血します。排便時間が長いことも原因の一つです。新聞などを読んだり、便が出きらない気がしたりしてトイレで長く座ってはいませんか。排便は短時間ですますよう習慣づけましょう。次に食生活では、暴飲暴食、食物繊維の不足、アルコールの飲みすぎなどは痔核の原因となります。食習慣の改善は、便通を整える効果もあって痔核の予防に大切です。運動不足は便秘の原因となります。適度な運動を心がけましょう。また、ストレス、

疲労、体の冷えなどは血液の循環を悪くして肛門のうっ血を助長します。

### <痔核の種類と症状>

痔核には肛門の奥にできる内痔核と出口付近の外痔核があります。内痔核の症状は、排便時の出血、肛門の違和感、残便感、肛門からイボが出るなどです。外痔核の症状は、痛みや肛門部のイボです。

### <痔核の治療>

痔核の治療でまず重要なことは、痔核の予防と同様に便通をはじめとした生活習慣の改善です。次に痔核の程度症状に応じて、個々の患者さんに合った治療法を選択します。まずは薬物による保存療法を行います。保存療法で症状の改善が得られない場合に外科的治療を行います。外科的治療には注射療法、ゴム輪結紮法、結紮切除術などがあります。

### <受診のタイミング>

痔核の診断は、症状からある程度類推できますが、似たような症状を呈する別の疾患もあります。たとえば、出血の原因が直腸癌や炎症性腸疾患で放置したために重大な結果になることがあります。また、痔であっても早く適切に診断すれば、保存療法や簡単な処置でよくなります。痔は決して恥ずかしい病気、珍しい病気ではありません。多くの方が経験する生活習慣病と考えてもいいでしょう。お尻の症状がある、痔かなと思ったときは、早めに肛門外来、肛門科を受診しましょう。

# 認知症と画像診断

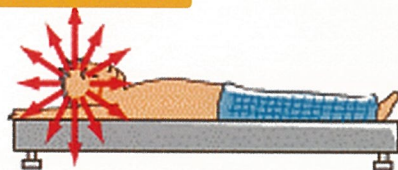


撮影透視主任 江川 幸孝

認知症の診断には、医師による問診、知能テスト、血液検査、画像診断などの結果を総合的にみて判断します。放射線科で行われている画像診断ではCT、MRI、核医学検査などがあり、その中でも「認知症」という病気の分類であるアルツハイマー型認知症、レビー小体型、前頭側頭型なのか、またどの程度病状が進行しているのかなどの診断能力に優れている核医学検査についてお話いたします。

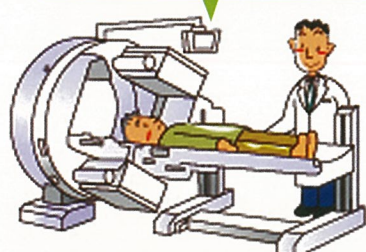
核医学検査とはガンマ線という放射線を放出する少量のくすり（放射性医薬品）を静脈から注射した後、ガンマカメラで画像を撮影します。検査時間は検査部位によって差がありますが、30～40分間ベッドに寝た状態で検査します。

## ガンマカメラ



## ガンマカメラ

## 脳血流SPECTの装置



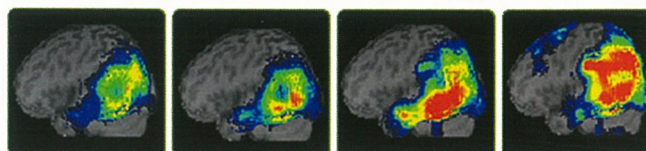
この放射性医薬品は早いものでは数時間で、遅くても数日で放射線が弱くなって、やがてなくなってしまいます。これは、くすりが体から排出されたり、放射線そのものがなくなってしまうからです。

脳の血流を調べる場合、くすりの集まり具合を輪切りの画像（断層画像）として表します。直接、血流の状態を調べるので脳の萎縮など、形の変化がまだ見られない初期の段階でも異常

頭の前後にあるのがカメラです。カメラを360度回転させて撮影します。

## アルツハイマー型認知症の場合

脳の血流が低下している部分を映したもの（SPECT統計解析画像）

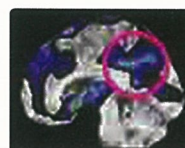


軽度認知機能障害

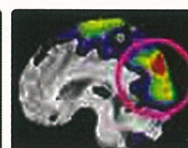
軽度

中等度

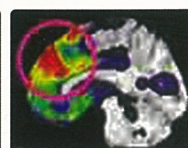
重度



アルツハイマー型



レビー小体型



前頭側頭型

を見つける事ができます。この脳血流を断層画像として表す検査方法をSPECT（スペクト）と呼びます。脳血流SPECTでは、脳の血流が多いところに多く集まり、少ないところには少なく集まるくすり（放射性医薬品）をつかいます。

右の上図は、SPECTで撮った画像をコンピューター（画像統計解析）を使って、血流の低下している部分だけがわかるようにしたものです。血流が低下するほど赤く表示されます。

症状が重くなるほど血流低下が進み範囲も広がります。

下図は脳を左から見た断面図ですが、認知症の種類によって血流の低下する部分が異なり早期診断に役立ちます。

「認知症」も他の病気と同様に早期発見によってその後の治療効果が大きく変わります。

わが国における認知症の患者数は年々増加し、2020年には300万人近くにまで達する見込みになり、介護者を含めると1千万人を超す方が「認知症」という病気に携わることになると言われています。もしかしたら？と思ったら、神経内科を受診されてみてはいかがでしょうか。私たち放射線科も、より良い画像を提供してまいります。

## 職 員 募 集

### ・看護師

是非、管理課庶務係長までご連絡ください。お待ちしております。

TEL 052-801-1151（代表）



## 西3階病棟の紹介



西3階病棟看護師長 浅田ナミ子



西3階病棟は神経内科病棟です。

神経内科疾患の検査、診断、治療、再発予防、リハビリテーション、在宅指導および支援、看護を行っています。

今年4月より障害者病棟（難病）から一般病棟に変わりました。とは言っても、神経内科疾患である難病患者さまも一部いらっしゃいます。特色としては脳卒中疾患の急性期を脱した患者さまがリハビリ目的で急性期病院から当院に転院される患者さまを始め、更なるリハビリを目指す患者さま、その他ギランバレー症候群や発熱、脱水、肺炎、尿路感染等神経内科疾患に合併して入院される患者さまに対応しています。

医療に対しては、患者さま・御家族に検査結果を丁寧に説明、予防策も含め医療チームで個別に検討しています。



脳卒中患者さまの入院時カンファレンスでは、患者さま・御家族、主治医、OT（作業療法士）、PT（理学療法士）、薬剤師、MSW（ケースワーカー）、担当看護師、師長が一同に介して、今後のゴールに対する希望・質問等の意見交換や各専門からの助言や説明を行いながら進行していきます。西3階病棟から、東2階病棟の回復期リハビリ病棟へ転出される場合にも、引き継ぎのためのカンファレンスを実施しております。

看護は“明るく元気に笑顔で、患者さまが安全に安心して入院生活を過ごせますように”をモットーに看護・支援していきます。

患者さまの個性を生かした看護計画のもと看護していきます。在宅介護の技術指導も御家族の方に実施しています。忙しい中にも、アットホームな雰囲気関わっています。

退院された患者さまが通院時にも病棟にきて近況報告をしてくださいます。そんな時に「頑張ってきてよかった!!」と実感し更に励みとなって元気をいただいています。これからも他職種との連携を強化しよりよい看護を目指していきます。



## ボランティアさん募集

当院では、患者さまの療養生活が少しでも豊かになるように、いろいろな活動の援助をしてくださるボランティアさんを募集しております。

### ボランティアの内容

- \*衣類等洗濯物の整理整頓、修繕
- \*車椅子清掃、整備、修理
- \*草刈り
- \*歌・楽器演奏（コンサート）
- \*etc...



是非、管理課庶務係までご連絡ください。お待ちしております。

TEL 052-801-1151（代表）

## 誕生 ソフト食！



主任栄養士 西沢 貴志

ソフト食は、摂食・嚥下困難食の1つで、今年の4月から当院で提供している新しい形態の食事です。あまり聞き慣れない名前ですが、「なめらか食」や「ムース食」の食事名で呼ばれていることもあります。食感や形状は、洋菓子の「ムース」や「ババロア」を想像して頂けると分かりやすいかと思います。

当院でも以前から神経・筋疾患や脳血管疾患による後遺症などから「食べる事」に制限のある患者様に、摂食・嚥下困難食を提供してきました。

### <摂食・嚥下困難食の1例>



キザミ食

とろみ食

しかしながら従来のキザミ食やとろみ食には、食材の原型をとどめていない、どんな料理か分からない、何となく全部が同じ味に感じる、食欲がわからない等の問題点がありました。このような問題点を解消するために取り組んだのが「ソフト食」です。ソフト食には、①舌や歯肉で押しつぶせる程度の硬さであること②すでに食塊（食べ物を口の中で細かく砕き、唾液と混ぜることで飲み込みやすい形となった状態）となっているような形のものであること③すべりやすく移送（飲み込み）しやすいものであること、といった定義があり、歯がない方・食事を飲み込み時にむせてしまう方・口に食べ物が残ってしまう方などに適した食事といえます。

ソフト食を開始するにあたり、栄養士と調理師は自主勉強会を開き、他施設を見学し、調理実習を受けたりもしました。

また院内試食会を開き、様々な意見を参考に、試行錯誤しながら試作を重ねました。



勉強会と試食会の様子

### <作り方>

食材をミキサーにかけ「ゲル化剤」を入れ80℃まで加熱し、型やラップなどを使って形成し冷やし固めます。一度固まった食材は65℃の温度まで温めても溶けることなくその形状を保つ事ができ、食材毎に調理することで色合いの良い1品となります。

### <ソフト食の1例> ★印がソフト食です。



おでん

鮭ムニエル



湯とうふ

金目鯛煮魚

当院のソフト食は今まで主菜だけでしたが、9月から副菜も全てソフト食で対応しています。今までよりも手間はかかりますが、更に工夫を重ね、より美味しく・食べやすい・見た目にも楽しんで頂けるような、そんな安全なソフト食を提供できるように取り組んでいきたいと考えています。

# 附属リハビリテーション学院です

教育主事 中村伴子・近藤 登



平成21年4月から理学療法学科教育主事と理学療法学科教員1名が新たに赴任し、非常勤教務助手が新規採用になり新たな体制で今年度がスタートすることとなりました。

新入生も理学療法・作業療法両学科合わせて38名を迎え、早いもので後期の授業真只中、すっかり当学院での生活にも慣れたようです。2年生はより専門性の高い授業が増え、職業人としての意識の高まりを感じます。3年生も既に6週間にわたって行われる臨床実習の1期目を終えました。慣れない現場に戸惑っているとの情報も入り心配をしておりましたが、各人が成長ぶりをみせてくれ全員無事に2期目の実習へと歩を進めております。そんな学生たちの期待に負けぬよう、教員もより良い教育を目指し努力しているところです。

本学院では受験希望者に対して行われる学院説明会にも力を入れており、第1回が6/27(土)で参加者20名、第2回が7/31(金)で参加者54名でありました。第3回も10/10(土)に学院祭

と同時開催という形で行われ、徐々に増えて行く参加者数に教員一同、身の引き締まる想いでした。

すでにご存じである方がほとんどであると思いますが簡単にリハビリテーション学院を



ご紹介させていただきます。

本学院は、丘陵地に位置し地勢は概ね緩やかな丘陵地帯であり、学院の周辺敷地内には松を主体とし多くの緑豊かな自然林を有し、(秋の虫の鳴き声も賑やかです!) 空気清澄にして閑静な公園の観を呈し、勉学には好適な環境にあります。

リハビリテーションに従事する理学療法士又は作業療法士を養成する3年制の学校でありまして歴史を振りかえれば日本で初めて国立病院・療養所附属のリハビリテーション学院が昭和38年5月に国立療養所東京病院に開校されたのを皮きりとして、昭和54年4月に東海地方としては初めて、国立病院・療養所附属のリハビリテーション学院としては4番目の養成校として国立療養所東名古屋病院附属リハビリテーション学院が開設されました。

その後昭和57年までに国立病院・療養所附属のリハ学院は9校が設置されましたが、平成15年12月に国立病院・療養所附属養成施設の再編成により当学院を除いて閉校が決定され、現在では、当学院が国立病院機構内に唯一存続する養成施設となっております。その中での一つの



役割として当学院が国立病院機構のリハビリテーションの情報発信源となるように努め、機構リハビリテーション科職員を対

象に学院教員が中心となり3年前後の経験者向けに研修会を開催しており、今年で3回目を迎えます。今年の夏の研修会は8/21(金)~22(土)に行われ参加者は北は青森から南は九州まで幅広く総勢15名で行われました。受講生のためにも学院の発展さらには国立病院機構の発展の一助となることを目標として鋭意努力しております。

また基本的な学生指導で心がけていることは学生が確かな知識・高い技術を身につけることは当然のことですが「報告、連絡、相談」が何時、誰にでも確実に行え、「目配り、気配り、心配り」の気持ちを忘れずに患者様はもちろんのことスタッフやまわりの方々に配慮ができて誰からもかわいがられ、信頼される豊かな人間性を身につけられるように指導して参りたいと思っています。



最後になりますがこの紙面をお借りしてお願いがございます。ご家族や親戚、友人、知人などで理学療法士・作業療法士になりたいと思われる方をご存じでしたら是非とも当学院をご紹介ください。また進路がまだ決まっていない場合もお話をさせて頂きたいと存じます。そして進路が決まれば立派な理学療法士や作業療法士になるべく支援して参ります。一緒に楽しい学院生活を過ごしながら勉強して行きましょう。教職員一同入学希望者を待っております。

# 外 来 案 内

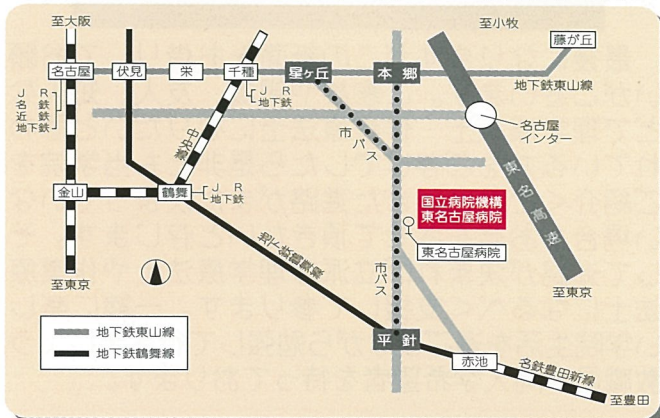
- 診療受付時間 午前8時30分～午前11時まで（緊急の場合はこの限りではありません）
- 診療開始時間 午前9時～
- 休 診 日 土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）
- 初診時の特別料金 他の医療機関等からの紹介ではなく、直接当院に来院された患者さまは、初診にかかる費用として、1,050円（税込）をいただいております。ご了承下さい。  
ただし、緊急その他やむを得ない事情により他の医療機関からの紹介によらず来院された場合にあってはこの限りではありません。

## 外来診察担当医表

（平成21年10月1日現在）

| 診療科      | 診療室     | 月                        | 火                               | 水                                          | 木                                 | 金                               |
|----------|---------|--------------------------|---------------------------------|--------------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| 呼吸器科     | ①<br>初診 | 齋藤 裕子                    | 小川 賢二<br>第1・3<br>中川 拓<br>第2・4・5 | 林 悠太                                       | 篠田 裕美                             | 垂水 修                            |
|          | ①       | 垂水 修                     | 清水 信                            | 田野 正夫                                      | 田野 正夫                             | 林 悠太<br>第1・3<br>篠田 裕美<br>第2・4・5 |
|          | ②       | 中川 拓                     | 山田 憲隆                           | 中川 拓<br>第1・3<br>小川 賢二<br>第2・4・5            | 小川 賢二                             | 齋藤 裕子                           |
| 循環器科     | ③       | 当番医が診察します                |                                 | 当番医が診察します                                  |                                   |                                 |
| 神経内科     | ⑪       |                          |                                 | 犬飼 晃                                       |                                   |                                 |
|          | ⑫       | 饗場 郁子                    | 片山 泰司                           |                                            | 田村 拓也                             | 早川 恵理                           |
|          | ⑬       | 横川 ゆき                    | 後藤 敦子                           | 後藤 敦子                                      | 齋藤由扶子                             | 見城 昌邦                           |
|          | ⑭<br>初診 | 犬飼 晃                     | 齋藤由扶子                           | 田村拓也 第1・3<br>早川恵理 第2<br>後藤敦子 第4<br>片山泰司 第5 | 横川ゆき 第1・3<br>見城昌邦 第2・4<br>早川恵理 第5 | 饗場 郁子                           |
| 消化器科     | ⑰       | 堀米 秀夫<br>(10:00～11:30)   | 高橋 宏尚                           | 高橋 宏尚<br>小林 慶子                             | 小林 慶子                             | 高橋 宏尚<br>小林 慶子                  |
| 呼吸器外科    | ⑥       |                          | 山田 勝雄                           | 山田 勝雄                                      |                                   |                                 |
| 外科・消化器外科 | ⑥       |                          |                                 |                                            | 加藤 俊之<br>(肛門外来)                   |                                 |
|          | ⑦       | 渡邊 正範                    | 加藤 俊之                           | 和泉 孝明                                      | 和泉 孝明                             | 渡邊 正範<br>(乳腺外来)                 |
| 整形外科     | ⑧       | 金子真理子                    | 佐々木康夫                           | 三島 健一                                      | 金子真理子                             | 佐々木康夫                           |
| リウマチ     | ⑧       |                          | 佐々木康夫                           |                                            |                                   | 佐々木康夫                           |
| 脳神経外科    | ⑮       | 水野 正明                    | 吉田 純<br>(予約のみ)                  |                                            | 竹内 裕喜                             | 竹内 裕喜                           |
| 泌尿器科     | ⑮       |                          |                                 | 青田 泰博                                      |                                   |                                 |
| 精神科      | ⑱       |                          |                                 | 桑原 高史                                      |                                   | 山田 堅一                           |
|          |         |                          |                                 | 酒井 崇                                       |                                   |                                 |
| 総合内科     | ③       |                          | 内海 眞                            |                                            |                                   |                                 |
|          | ⑯       |                          |                                 | 濱口 元洋                                      |                                   |                                 |
| 皮膚科      | ⑤       | 加藤 愛                     | 加藤 愛                            | 加藤 愛                                       |                                   | 加藤 愛                            |
|          |         | 田中 伸<br>第2 14:00～16:00   |                                 |                                            |                                   |                                 |
| リハビリ外来   |         | 見城 昌邦                    | 横川 ゆき                           | 佐々木康夫                                      | 早川 恵理                             | 田村 拓也<br>第1・3・5<br>林 悠太<br>第2・4 |
| ドック      |         | 外来人間ドック<br>脳ドック<br>(予約制) |                                 |                                            |                                   |                                 |

※予約制は再来診の場合のみです。初診の場合は通常どおりの診療となります。  
※救急診療は、時間外・休日も行っていますので、時間外窓口にご連絡下さい。(052-801-1151)  
※当院では、毎週月曜日に外来人間ドック（予約制）を行っていますのでご利用下さい。



- 地下鉄東山線星ヶ丘駅下車
  - ・市バス③番のりば } 約15～20分 東名古屋病院にて下車
  - ・東名古屋病院行き
  - ・梅森荘行き
  - ・星ヶ丘よりタクシーにて約15分
- 名鉄豊田新線・地下鉄鶴舞線赤池下車
  - ・タクシーにて約8分
- 地下鉄鶴舞線平針下車
  - ・市バス①番のりば本郷行き約10分 東名古屋病院にて下車
  - ・タクシーにて約8分
- 地下鉄東山線本郷駅下車
  - ・市バス①番のりば地下鉄平針駅行き15～20分
  - 東名古屋病院にて下車
- 東名高速道路名古屋インターより約15分